

体験活動で学びを深める (例: 平井・小松川地区)

①環境とともに生きる「水辺のまち」を生かして

- 旧中川での小中学校カヌー教室 (小松川中・小松川二中)
- 荒川と旧中川河川敷にビオトープ作り (小松川中・小松川二中)
→年間6回の河川水質調査に参加
- 荒川右岸河川敷クリーン作戦
(平井小松川地区小中学校とエコセンターで清掃活動)
- 旧中川での子供釣り大会 (平井・小松川地区小学校)
- 地産地消を目指した小学生農業体験 (地域で農を守る取り組み)

②人とともに生きる「安心して住みやすいまち」作り

- 国際交流 (外国籍の子供たちと異文化交流や交流給食)
→インターナショナルスクールの子も含め学習発表会等で交流し
共生社会の認知度を高める学びの場を構築する
- 発展した活動として
「ハゼ釣り大会」「ビオトープ体験」「クリーン作戦」への参加
- 食品ロス4,000トン削減を目指して給食で取り組み、
記録を各校で蓄積し成果を発表

◎協力団体・支援者の発掘

- 「グリーンプラン推進校」への
予算配分
→各校が環境フェア参加・
SDGs推進月間中に成果発表
- 「中土手に自然を戻す市民の会」
「下平井水辺楽校」
「荒川クリーンエイド」と連携
- 人生大学地域デザイン学部
(国際・まちづくり)による
学校への活動支援

実現に向けて

- ★元教員や学校を理解する人材を区で
プールし、調整役・コーディネーター
として学校に参加してもらう。